

## WebメニューからASP1000Rの体験版を利用する方法

### I 法人電子申告システム（ASP1000R）

#### 1. 体験版のURLへアクセスします。

<https://asp1000.tkc.co.jp/WebMenu/asp1000r/taiken/920001/menu>

- ※ 体験版の目的は、各PCに登録されるデモデータを利用し、画面や別表の確認です。  
画面の入力や印刷は可能ですが、通信は行われず計算処理はできません。
- ※ 体験版で利用できる版数は、各年度の最新版です。
- ※ 体験版と貴社のWebメニューを同時に利用することはできません。

#### 2. 認証画面で下記を入力します。

[ユーザID]ASP0001 [パスワード]ASP0001



法人電子申告システム  
**ASP1000R**

ユーザID  
ASP0001

パスワード  
\*\*\*\*\*

OK

- ※ 初めてWebメニューを利用する場合は、P2の【ご参考】の事前準備が必要です。  
(既にWebメニューを利用している場合は、事前準備は不要です。)
- ※ 体験版では下記の3つのIDを利用可能です。

【ご参考】体験版で利用可能なログインIDと処理権限

| 行 | ユーザID   | 備考     |        |       |
|---|---------|--------|--------|-------|
|   |         | システム管理 | すべての業務 | 特定の業務 |
| 1 | ASP0001 | ○      | ○      |       |
| 2 | ASP0002 |        |        | ○     |
| 3 | ASP0003 |        |        | ○     |

(ログイン時のユーザIDの権限に基づいてシステムが動作します。)

---

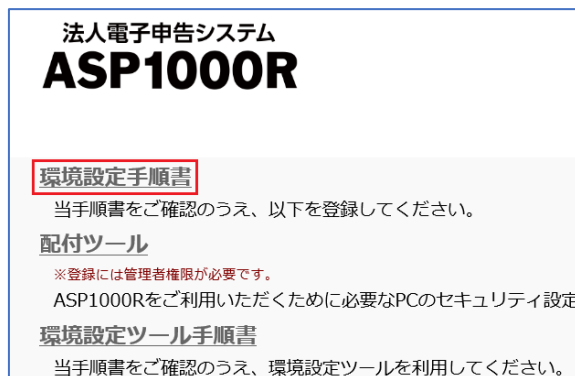
【ご参考】Webメニューを初めて利用するPCの事前準備

※ Webメニューは、Internet Explorer11、Microsoft Edge(Chromium 版を含む)、及び Google Chrome を利用可能です。

①ASP1000R を初めて利用するPCの場合

「環境設定手順書」を参照し、事前準備を行います。

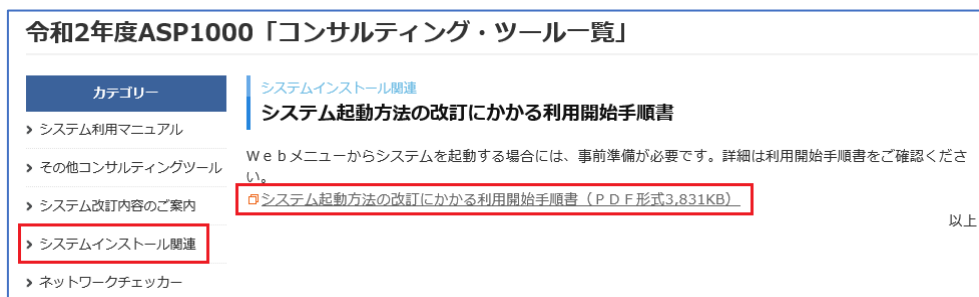
※ Webメニューの「システム設定」のリンク > 「環境設定手順書」のリンク



②ASP1000R を既に利用しているPCの場合

[「システム起動方法の改訂にかかる利用開始手順書」](#)を参照し、事前準備を行います。

※ Webメニューの「オンラインQ&A」>「コンサルティングツール一覧」>「システムインストール関連」のリンク



3. 「法人電子申告システム」のリンクをクリックします。

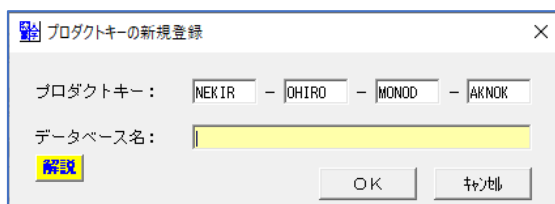


※ 初めて起動する年度は、プロダクトキーの登録を求められます。  
「プロダクトキー」は下記を入力し、「データベース名」は何も入力せずに「OK」ボタンをクリックすると、体験版のデータが登録されます。

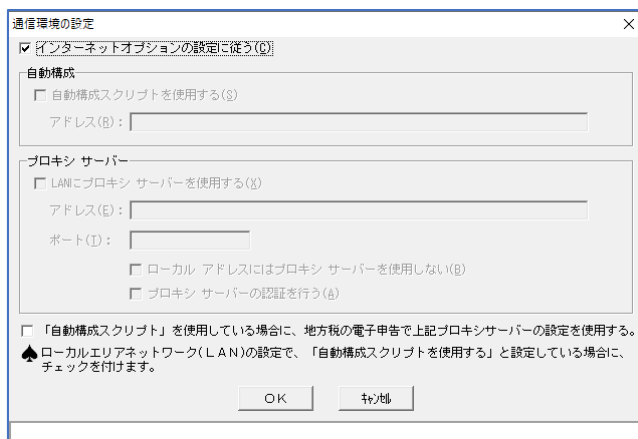
NEKIR - OHIRO - MONOD - AKNOK

(「O」は英大文字の「オー」です。数字のゼロではありません。)

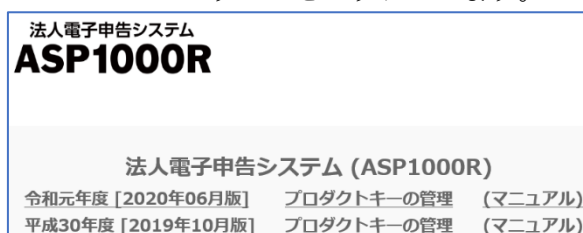
(体験版のプロダクトキーは、各年度共通です。)



※ 「通信環境の設定」は、設定を変更せずに「OK」ボタンをクリックします。



※ 過年度を利用する場合は「過年度版システム」のリンクをクリックし、対象年度のASP1000Rのリンクをクリックします。



4. 利用する法人を選択します。

- ※ 「大手製造 株式会社」が確定申告で、「株式会社 甲野商事」が予定申告です。
- ※ 財務諸表や勘定科目内訳明細書の読込を確認する場合は、「大手製造 株式会社」(確定申告)を選択します。

令和2年度法人電子申告システム(ASP1000R)

【法人選択】 登録済み法人数: 2 / 9

| コード        | 頭 | 法人名                 |
|------------|---|---------------------|
| 0000000001 | 材 | 大手製造 株式会社 (確定申告の事例) |
| 0000000002 | 加 | 株式会社 甲野商事 (予定申告の事例) |
|            |   |                     |
|            |   |                     |
|            |   |                     |
|            |   |                     |
|            |   |                     |
|            |   |                     |
|            |   |                     |
|            |   |                     |
|            |   |                     |

♥ 処理する法人を選択してください。(新規登録: [F1])

0000000001

F1新規登録 F2 前頁 F3 次頁 F4選択終了 F8選択中止

【重要】利用者識別番号や利用者 ID に貴社の情報を入力しないでください

体験版でも e-Tax や eLTAX にログインできるため、利用者識別番号や利用者 ID に貴社の情報を入力した場合、体験版の情報を e-Tax や eLTAX の貴社の情報に更新する可能性があります。

そのため、下記画面の利用者識別番号等には、貴社が利用している利用者識別番号等を入力しないでください。

※ 体験版は、サンプルの利用者識別番号等が設定されているので、そのまま利用します。  
（[税理士（法人）の電子申告基本情報]の利用者識別番号等は空欄のまま利用します。）

①[11.法人基本情報の登録]の[電子申告]タブ

1)利用者識別番号 2)利用者 ID

11.法人基本情報の登録 (R02)

基本情報 | 運用を受ける金融機関 | 電子申告 | 税効果会計の計算 | 税務申請・届出が完了の「基本情報」読込

1. 電子署名

(1) 電子署名する者

電子署名する者 ☒ 代表者 ☐ 受任者(代表者から委任を受けた役員または職員) [解説](#)

(2) 電子署名する者(代表者または受任者)の電子証明書

氏名 大平 一郎

証明書の発行元 商業登記記録局

証明書の有効期限 令和 6 年 8 月 10 日

電子証明書 I カード 種類 有効期限 年 月 日

▲ I カード格納型電子証明書の場合は、I カードの種類と有効期限も登録してください。  
なお、「商業登記記録局」発行の電子証明書は、ファイルです。

2. 国税の利用者識別番号等

開始届出書提出年月日 平成 31 年 4 月 5 日

利用者識別番号 1111 1111 1111 1111

納税用増徴番号 123456 (半角数字6文字)

納税者用カナ氏名・名称 株式会社「たけ」

申告の増徴番号 登録(変更)日 平成 31 年 4 月 5 日

有効期限 令和 4 年 4 月 4 日

電子証明書の登録(更新)日 平成 31 年 4 月 5 日

3. 地方税の利用者 ID 等

利用届出年月日 平成 31 年 4 月 5 日

仮理証番号の変更期限 年 月 日

利用者 ID abc12345678

申告の増徴番号 登録(変更)日 平成 31 年 4 月 5 日

有効期限 無期限

電子証明書の登録(更新)日 平成 31 年 4 月 5 日

法人基本情報を登録してください

F1 前項目 F4 入力終了 F7 左タブ F8 右タブ F10 処理メニュー

②[811-2.税理士基本情報の登録]の[税理士（法人）の電子申告基本情報]タブ

1)国税の利用者識別番号 2)地方税の利用者 ID

811-2.税理士基本情報の登録 (R02)

A10 本日: 令和 2年10月 7日(水)

0000000001: 大手製造 株式会社 (確定申告の事例) 事業年度: 令和 2年 4月 1日~令和 3年 3月31日

税理士(法人)情報 | 税理士(法人)の電子申告基本情報

2. 税理士(法人)の電子申告基本情報

税理士 氏名

国税の利用者識別番号 (半角16文字)

地方税の利用者 ID (半角11文字)

名称

税理士法人 国税の利用者識別番号 (半角16文字)

地方税の利用者 ID (半角11文字)

税務代理権限証書を電子で提出 ☒ する ☐ しない ▲ 税務代理権限証書は「811-3」で作成できます。

3. 税理士(法人)による代理送信

税理士(法人)が代理送信 ☒ する ☐ しない ▲ 納税者が署名省略する場合は「(代理送信)する」

▲ 電子申告データ作成後に、「3. 税理士(法人)による代理送信」を変更した場合は、必ず未送信の電子申告データを作成(再作成)してください。

F1 前項目 F4 入力終了 F7 左タブ F10 処理メニュー

以 上